

# 「防災街歩き」をやりました

防災部長 初鹿將之 記

2024年3月2日(土) 曇り空の風が冷たい日にもかかわらず、幼稚園児・小学生から老人会の方など幅広く23名が参加しました。

朝9時に町内会館に集合。森井町内会長の挨拶のあと10名単位の2グループに分かれ出発。先頭はプラカードを持った子供会役員が務め。シンガリは車や自転車の接近を知らせる交通安全係を役員が務めました。

探索した場所は

防災関係は、 防災井戸、防火水槽。防災倉庫、遊水地、街頭消火器

史跡関係は、 十一面観音、六地藏、道祖神、庚申塔、穴あき鉄板、新道記念碑、などなど、日頃見過ごしていたものが結構あります、説明を聞きながら歩くと90分では時間が足りないぐらいでした。

会館に戻って、サンドイッチと温かいお茶を飲みながら、

①町内会館に十一面観音があるのはなぜ？

②今年元旦に発生した能登半島地震の教訓は？ 大東で起こったらどうなるの？などを懇談しました。

## ①十一面観音：

江戸時代のはじめ、普門寺が平塚から今の場所に移転した際、本尊が十一面観音から不動明王に代わり、十一面観音は新しく建てた観音堂に祀られました。

その後、観音堂が廃寺となり、その跡地に町内会館が建てられました。そして十一面観音は町内会館に祀られることになったのです。

## ②能登半島地震の教訓：(大東で起こったら)

大東は、能登と違い津波の心配はないが、同じ砂地なので液状化は避けられず、多くの家屋が倒壊すると想定される。そのことが最も心配だ。

倒壊防止や、家の下敷きになった人の救出などは素人には難しい。

平常時の今、すぐしておくことは次の2点。

1. 家具などの下敷きで命を落とさないよう。転倒防止対策や窓ガラスの飛散防止対策。
2. そして幸いにして生き残ったときの対策です。

能登では避難生活している人たちが最も困っているのは、**水とトイレ**です。

## 水問題：

飲料水は備蓄や給水で何とか凌げている。しかし、日が経つと風呂に入りたい、洗濯したい・・・生活用水を何とかしてほしいとの声が多く聞かれます。

飲料水の備蓄の目安は、一人当たり1日3ℓ x 最低3日で9ℓ 3人家族だと27ℓ。  
7日分なら63ℓです。

生活用水対策は、風呂の水を貯めておく事ぐらいですが、幸い大東には防災井戸が10カ所あり、心強い。飲料には適さないが生活用水には十分使えます。井戸は個人の所有なので、日頃から親しくしておきましょう。

## トイレ問題：

あまり報道されていませんが、能登でも他の避難場所でもトイレが大きな問題になっています。飲み食いは我慢できても、トイレは我慢できない、待ったなしです。

携帯トイレの備蓄が絶対必要です。一人1日5回 x 7日で35個 3人家族だと105個が目安。

100円ショップでも売っています。

「参加して良かった。早速携帯トイレを買いに行きました。」というお母さんがおられました。

懇談が終わったあと子どもたちは青年部員とゲームを楽しみました。

以 上